

■ (仮称) 地域観光ギャラリーは

観光で訪れる人々を中心に、豊富な観光情報と地域の見所を紹介する展示を提供します

1 施設の基本的な考え方

■設置目的

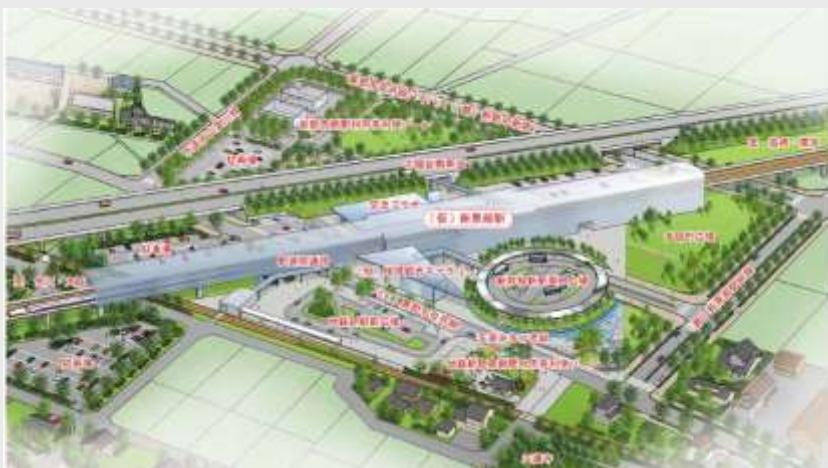
- (仮称) 地域観光ギャラリーは、新黒部駅 (仮称) の周辺整備計画の一環として、観光情報機能、商業機能、休憩・待合・交流機能を担う施設として整備される。
- 展示空間は黒部市を含めたいかわ観光圏の活性化や黒部市内の来訪者の回遊促進を目的とするフィールドミュージアムの玄関口として位置づけられている。

※フィールドミュージアムとは、地域全体を1つの大きな博物館と捉え、地域に分散する水の自然や水文化などの様々な特徴を活かすために、玄関口 (展示空間) を通じて現地で本物を体験・体感してもらう仕組みづくり。

■設置規模等

- 床面積は約1,200㎡、2層建てを想定する。

■新幹線新駅周辺整備計画鳥瞰図



■ターゲット

- 新幹線や北陸自動車道を用いて地域を訪れる観光客 (個人客、団体客、修学旅行客)
- 地域学習・生涯学習のために地域を回遊する目的で訪れる人々
- 商用で地域を訪れた人々

2 事業の概要

情報受発信事業	●観光圏を中心に県東部に広がる観光情報、フィールドミュージアムの最新情報などを収集し発信する。
展示事業	●フィールドミュージアムの見所や楽しみ方を紹介する。また、絵画「黒部川」を活かした展示を行う。
観光案内事業	●もてなしの心をもって、お客様の要望に応えられる観光案内を行う。
体験事業	●フィールドツアーやグリーンツーリズムなど体験型のプログラムを関連機関と連携し提供する。
観光商品販売事業	●観光圏の地域で、100の観光商品を提供し、その商品の販売やホテル等の予約を行う。
物販事業	●本物を扱う駅として、旅の思い出となるお土産を販売する。
レンタル事業(予定)	●観光客の便宜を図る各種レンタルサービスを行う。
人材育成・活用事業	●ツアーガイドや、スポットの保存・管理のためのボランティアを育成し活用する。
交流・連携事業	●新川地域の博物館等を中心に関連施設、団体等と連携を行い、地域の活性化を図る。

3 外装イメージ図

駅舎と一体となったデザイン

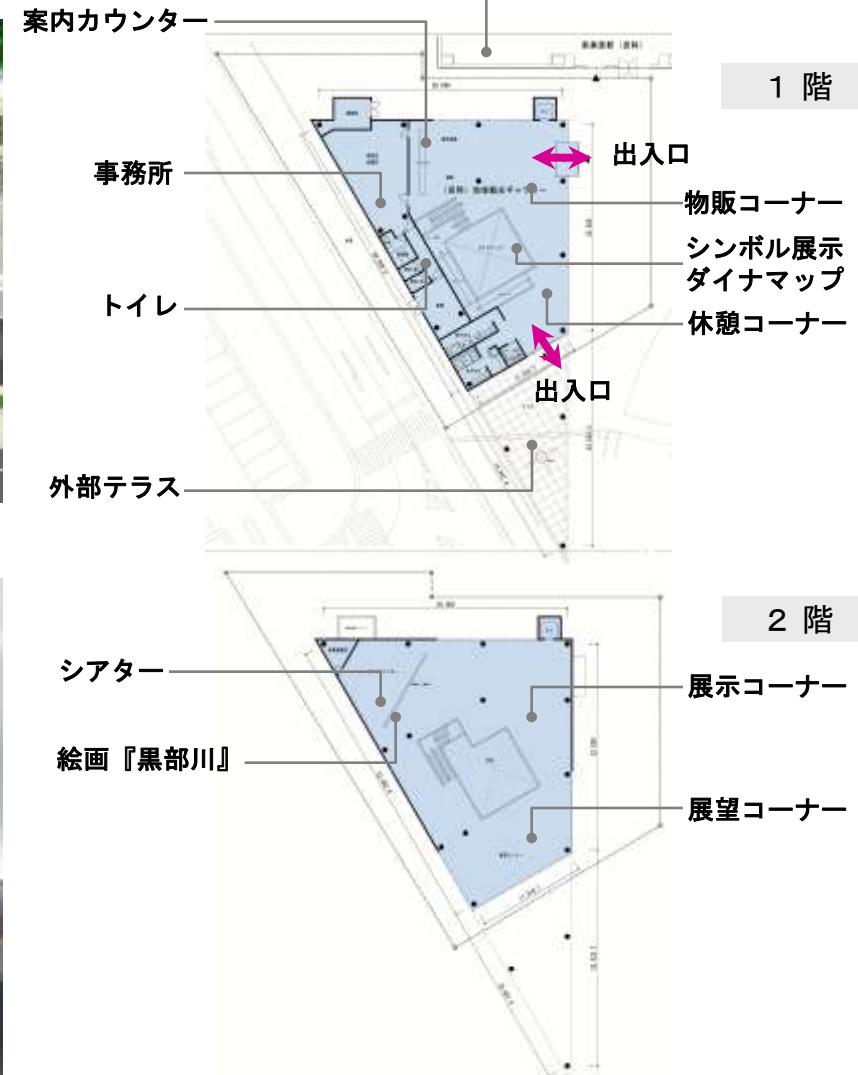


4 シンボル展示イメージ図

フィールドを歩き回る地図(半地下構造)と立体的に一望できる空中ジオラマ



5 配置計画



■ (仮称) 交流プラザは

人々の交流機能と新駅の休憩・待合機能を担う施設として設置されます

1 施設の基本的な考え方

■ 設置目的

- (仮称) 交流プラザは、人々の交流機能と新駅の休憩・待合機能を担う施設として設置される。

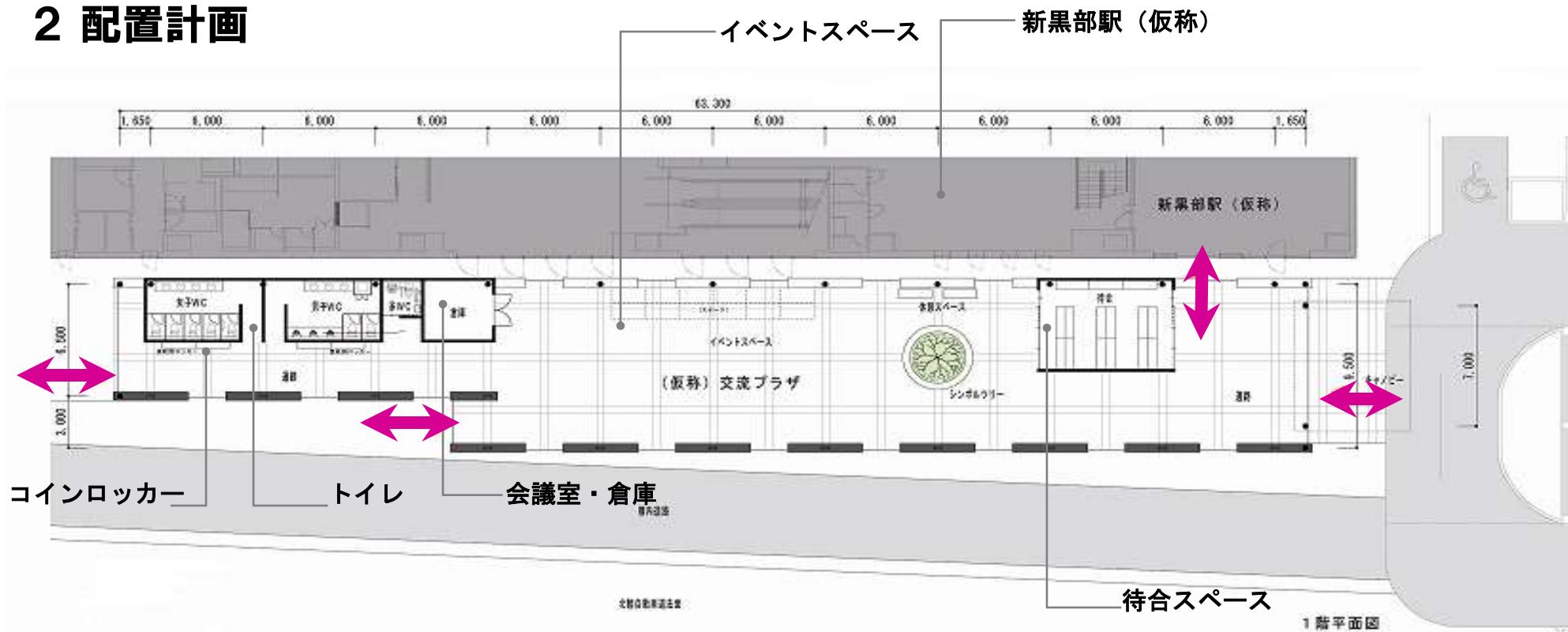
■ 施設位置と規模

- 新駅の西口改札と直結する位置に、駅舎に沿って設置される。
- 施設規模は約600㎡を想定する。

■ 乗降客数の設定

- 1日あたりの乗降客数を約2,700人と設定し、待合スペースやトイレ等の規模を想定する。

2 配置計画



3 内部イメージ図



4 施設機能

■ イベントスペース

- 可動式ステージを設けて、新川地区の観光促進に関わるイベントや物産展などを開催する。ステージ前に100名程度が滞留できる空間とする。

■ 待合スペース

- 50名程度のベンチを用意する。

■ 会議室・倉庫

- 観光客等団体の集合場所などとして使うことができる会議室兼倉庫を設ける。
- 会議室として利用しない時には、イベントなどに関わる什器や備品等の倉庫として使用する。

■ トイレ

- 待合客やイベント観覧客のためのトイレを設置する。

■ コインロッカー

- 冬期に車から新幹線に乗り換え移動する乗降客のために長靴も保管できるコインロッカーを設ける。